

ルール確認事項

平成24年2月

1. エンタイトルワンベース

- (1) 投手のワイルドピッチ、または捕手のパスボールによりバックネット、あるいはボールデッドラインを超えたとき。
- (2) 投手の**投手板上からの牽制悪送球**及び野手の後逸によりボールデッドラインを超えたとき。**(投手板を外しての牽制悪送球の場合は後記2.(2)を適用)**

2. エンタイトルツーベース

- (1) 投手の2塁走者への牽制悪送球及び野手の後逸により、ホームランラインを超えたとき。
- (2) 内野手(投手・捕手を含む)の各塁への悪送球および野手の後逸によりバックネット、ボールデッドライン、またはホームランラインを超えたとき。
- (3) 外野手の各塁への悪送球及び野手の後逸によりバックネット、またはボールデッドラインを超えたとき。
- (4) 捕手の各塁走者への牽制悪送球及び野手の後逸によりボールデッドラインまたは、ホームランラインを越えたとき。
(上記(2)項では内野手(投手、捕手を含む)、(3)では外野手が当ルール適用となる悪送球及び後逸の原因となる送球のスローイングを開始した時点の走者が占有していた各塁から2個の進塁を与える。また打球処理直後の内野手の最初のプレイに基づく悪送球であった場合は、投手の投球当時の各走者の位置を基準とする。)

3. 場外捕球

- (1) バックネットライン、ボールデッドライン、及びホームランライン付近での飛球は野手の捕球したときの両足の位置で判定する。
(従って、片方の足がラインを踏み越していれば、ファウルボールまたはホームランとなる。)
- (2) ベンチ内の捕球はファールとする。
- (3) デッドライン内で捕球**後**、デッドライン**外で倒れ込んだ**場合はボールデッドとなる。(走者はテイク1ベース) **倒れ込まなかった場合はボールインプレイ。**

4. ボーク

- (1) 原則Aチームには即適用、Bチームには1回目注意・2回目から適用、J r チームには注意のみとするが、Bチーム・J r チームの試合において審判の判断により即適用することは妨げない。(攻撃側に明らかに不利と認めた場合には即適用する)